

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第 1 号を下記のとおり発表します。
タマネギ細菌性病害は、気温の上昇および降水量の増加等による気象状況によっては、発生量が多くなる傾向があるので適期防除するようご指導願います。

平成 28 年度 病害虫発生予察防除情報 第 1 号

タマネギ細菌性病害の防除対策について

- | | |
|--------|-----------------|
| 1 対象作物 | タマネギ |
| 2 病害虫名 | タマネギ細菌性病害 (腐敗病) |
| 3 発生地域 | 淡路地域 |

4 発生現況について

平成 28 年 3 月 28 日に病害虫防除所が行ったタマネギ病害緊急調査では、発生圃場率 8.6% (平年値 11.1%)、発病株率 0.03% (平年値 0.1%) と平年並みの発生が見られ、今後の気象条件によっては、発生が助長される。

5 今後の気象予報について

大阪管区气象台(3月31日付)発表の向こう 1 か月予報 (4月2日から5月1日までの見通し)によると、天候は数日の周期で変わり、平年に比べ晴れの日が少ない見込みとなっている。気温については高く推移し、降雨量は平年並からやや多いと予想されている。

6 発生生態・予想について

本病は、早春頃から定期的に通過する低気圧に伴う強風雨によって作物体が傷つき、そこから病原菌が侵入し、周囲に飛散・蔓延する。そのため、初発病株を中心に隣接株へと広がって被害が大きくなるのが特徴である。今後の予想については、現在、平年並みの発病が確認されていること、向こう 1 ヶ月予報でも発病を助長する予報となっていることから、注意が必要である。

7 防除対策について

- (1) 伝染源となる腐敗株を早期に抜き取り、圃場外で処分すること。
- (2) 排水不良は発病を助長するので、排水対策を徹底すること。
- (3) 強風が吹いたあとには、必ず、薬剤防除に心がけること。
- (4) タマネギ病害については既に3月16日付でべと病の注意報を発表している。本病も今後、発生が増加すると予想されるので併せて適切な対策が必要である
- (5) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システムを参考に選定し、農薬使用基準を遵守すること。
兵庫農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222